

「職業ロードマップを作ろう」～私の人生プラン～

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力 主体的に学ぶ力
他者とかかわる力 自己形成力

単元について

○生徒観

第1学年の生徒は、小学校までに総合的な学習の時間では、「身近な地域」「環境」「産業・食」「伝統文化・歴史」について学習を深めてきている。しかし、職業について、例えば「どんな職業に就きたいのか」「どういった進路をたどればその職業に就くことができるのか」「職業に就くためにはどんな資質・能力を必要とし、現状はどんな力が不足しているのか」などのように、自らの将来や自分自身について、深く理解しようとする活動や経験が十分に行われていない。

また、学習に対する意識としては、次の表1の通りであった。

表1 第1学年生徒アンケート

アンケート項目	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
①授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	56.1%	29.4%	11.4%	2.6%
②授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみよう」と思います。	39.0%	49.1%	8.3%	3.1%
③「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	37.3%	47.8%	11.4%	3.1%

(平成27年12月20日228名)

表1の①から分かるように、『他者とかかわり通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている』という項目に関しては、過半数以上の生徒が「よくあてはまる」と回答している。普段の授業においても、グループ学習やペア学習等で、積極的に考えや意見の交流が行われている。

しかし、表1の②と③では、普段の学習において、『解決しようとする課題に対して「なぜだろう」、「やってみよう」と思います』と『自ら課題を設定し自ら解決したことを発信する活動に意欲的に取り組んでいます』という項目に対しては、「よくあてはまる」と回答した生徒が半数を大きく割っている。このことから、自ら疑問をもち、関心意欲を持って課題解決に向けて取り組むことに課題があることが分かる。

○単元観

本単元は、自らの職業レディネステストや職業に就くまでのロードマップを作成することを通して、生徒が職業についての理解を深めるとともに、次年度に行う職場体験や2年後に迫る進路選択に向けて、自らの将来像をどのように持ちどう設計していけばよいかという「将来設計」に係る力と「職業観や勤労観」を育むことを目的としている。マッカーサー財団デジタルメディア&ラーニング・コンペティション共同ディレクターのキャシーN.ダビッドソンは、「2030年には、子供たちの65%はまだ存在していない職業につくだろう」と語っているようにこれからの子どもたちは、先の読めない未来を

自分の力で切り拓いていく力がより求められていく。そういった生徒を育てるために、この第1学年の段階から将来についてしっかりと考え、職業に関する知識や価値観を深めたり広げたりする活動が必要であると考え本単元を構想した。また、将来自分が職業に就くことに対して、明確なイメージをもつことや自分事として捉えることがまだ難しいところもあると考えられるが、「職業ロードマップ」の作成を通じて、「理想」と「現実」の間にどのようなギャップがあるのか、どのような力をこれから身に付けていかなければいけないのかなどをこれから考えていくための最初の単元としたい。

○指導観

本単元の前半は、自分がどんなことに興味を持っているのかという自己理解に重点を置き、後半は一つの職業を選び、その職業に就くためのロードマップを作る活動を行う。

前半の課題設定の場面では、クラス全体の中で、知っている仕事内やその内容を思いつく限り発表させる。それにより、私たちの社会はさまざまな職業に支えられて成り立っていることや、自分が将来何らかの職業に就くことを意識させ、自分に適した職業は何かを探っていきたいという意欲を持たせる。

その後、自分の適性を調べる活動として、ハローワークのレディネステストに回答させ、その結果を分析シートの中で、折れ線グラフなどを自分で作成して分析することで、自分は何に興味があつて、どんなことに自信があるのか、どんな職業に適性があるのかを客観的に知り、自己理解を深める。

後半のロードマップ作りの活動では、レディネステストの結果を生かして、自分の興味や自信のある職業の中からロードマップの職業を決定させる。

その職業に就くための方法や職業の内容については、自宅や図書館で見つけたり、パソコン教室や図書室を利用したりするなどして、生徒が積極的に資料を探し、そこで収集したさまざまな資料の中から、ロードマップ作りに必要な資料を適切に選ぶことができるよう支援する。

ロードマップの完成に向けては、いくつかのモデルを示し、中学校を卒業してから職業に就くまでの道筋など、必ず入れなければならない項目を示すとともに、そこにたどり着く道は、複数あってもよいし、一つに絞ってもよいことなどを伝える。また、その内容を見せながら発表することも踏まえ、視覚的にわかりやすいロードマップになるように意識させる。

ロードマップ完成後は、他者の考えや発表を参考にし、自分が調べたこと以外の職業についても理解を深め、新たな価値観を見いさせることに重点を置く。そのための視点としては、以下の3点を生徒に示しておく。

- ア … 他の発表から自らの考えを修正したり改善したりしたこと
- イ … 職業に就くために求められる資質・能力は何であり、今の自分に足りない資質・能力は何であるか分析したこと
- ウ … この学習を通じて今後自分の生活をどのように変えていくのか、または何を変えていかなければならないか決意したこと

これらの活動により、自ら作成したロードマップと他者が作成したロードマップ、または、以前の自分と現在の自分との考えを比較し、自らの考えを修正したり、加筆したりするを通して、更なる自己探究を促す。

最後に、自分の将来に対する考えの変化を振り返らせることで、次なる課題を見い出し、2年次、3年次の学習への見通しを持たせる。

単元の目標

- 1 職業に興味を持ち、職業の種類やその職業に就くための方法を調べることで、自分の現状を見つめ直したり、今の自分の足りないものに気づいたりすることができる。
- 2 調べた内容をもとに、「職業ロードマップ」を作成し、それを人にわかりやすく伝える力をつけることができる。
- 3 この学習を通して、自分の生き方について考えを深めることができる。

育てたい資質・能力及び態度における評価規準

資質・能力及び態度			評価規準
知識	知識・情報	知	①職業に就くための方法や過程について理解を深めることができる。
スキル	思考力・判断力・表現力	思	①調べた情報から必要な情報を抽出し、まとめることができる。 ②相手に、伝いたい内容を精選し、相手に分かりやすく伝える工夫をしている。 ③他者の発表を受け、自分が作成したロードマップや将来設計について考えを改善することができる。
意欲態度	主体的に学ぶ力	主	①自ら課題を見だし、課題解決の方法を考えようとしている。
価値観 倫理観	他者とかわる力	他	①仲間とともに話し合いにより考えを広めたり、深めたりすることができる。
	社会貢献力	社	
	自己形成力	自	①課題解決に向けて、前向きにチャレンジしている。 ②単元を振り返り、将来の目標を達成するためにはどうしたらいいかを考えることができる。

単元と評価の計画

1 年間の指導計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元	「地域を知ろう」～地域の文化施設の魅力を広げよう～ (40時間)								「職業ロードマップを作ろう」(10時間)			
	地域理解・社会貢献								自己探究			

2 単元と評価の計画

小単元名	学習過程	時数	学習内容 学習活動	評価規準 (評価方法)	教科との関連
自分がどんなことに興味を持っているのか知ろう	課題の設定	1	○仕事について交流する。 ・仕事の種類や内容などについて知っていることを交流する(1) ⇒ 自分の適性を知りたい	【思-②】 【他-①】 (行動観察) (自己評価表)	
	情報の収集	2	○職業レディネス・テストをする。 ・自分がどんな仕事に興味を持っているのか、どんな業務に自信があるのかを自覚するために、ハローワークの職業レディネス・テストを使用する。(1)	【自-①】 (行動観察) (自己評価表)	
	整理・分析	3	○職業レディネス・テストの結果を分析する。 ・職業レディネス・テストの結果を分析し、適職を知る。(1)	【自-①】 【思-①】 (行動観察) (自己評価表)	⇔【数学】 グラフを用いて資料を分析する。

職業ロードマップを作ろう	課題の設定	4	<p>○自分が作成するロードマップの職業を決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業レディネス・テストの分析を参考にし、作成するロードマップの職業を決定する。(1) <p>⇒どのような道を進めばその職に就けるのか知りたい</p>	【主-①】 (行動観察) (自己評価表)	
	情報の収集	5	<p>○作成するロードマップの職業について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室やパソコン教室でロードマップ作成に係る仕事について詳しく調べ、どのような働き方があるか知る。(1) 	【知-①】 (行動観察) (自己評価表)	⇔【国語】 言葉に出会うために調べる。
	まとめ・創造・表現	6	<p>○職業ロードマップを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業の仕事内容、資格や収入と、必要な補足を加えロードマップを作成する。(1) 	【思-①】 【主-①】 (行動観察) (自己評価表)	⇔【国語】 わかりやすく説明する。観点を決めて書く。
		7	<p>○発表原稿を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチを行うための発表用原稿を作成する。(1) 	【思-②】 (行動観察) (自己評価表)	
		8	<p>○学級スピーチを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6つの班に分かれスピーチをし、班代表を6人選出する。班代表は再びスピーチを行い、6人の中から2人学級代表を選出する。(1) 	【主-①】 【他-①】 (行動観察) (自己評価表) 【思-③】	【他-①】 (行動観察) (自己評価表)
	9	<p>○学年スピーチを行い、職業に就くまでのロードマップ作製を通じて、新たに考えが広がったり深まったりした点を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各クラスの代表は全学年の前でスピーチを行う。(1) 	【思-③】 【他-①】 (行動観察) (自己評価表)		
振り返り	10	<p>○今回の学習を振り返り、スピーチの評価も含め振り返りシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習前と学習後において、自分の将来に対する考えがどのように変わったかを振り返る。(1) 	【自-②】 (行動観察) (自己評価表)		

本時の学習展開

○本時の目標

- ・「職業ロードマップ」の発表を受け、自らの将来設計について、新たに疑問をもったり、新たな価値観を見いだしたりすることができる。
- ・自ら作成した「職業ロードマップ」と発表とを比較し、自らの将来への展望の甘さや、将来への「理想」の姿と「現実」の自分の姿に隔たりがあることに気づき、自らの将来設計について考えを深めることができる。

○学習展開（9 限目/10）

まとめ・創造・表現

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入	<p>1 本時のめあてと学習の流れを確認する。 ①司会の生徒が本時のめあてと本時の流れを説明する。(2分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【本時のめあて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチを通して仕事に対する考えを深めよう。 </div>	<p>①めあてと流れをスクリーンに表示することにより、本時の活動の見通しを持たせる。</p>	
展開①	<p>2 スピーチをする。 ①スピーチの流れ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>I：スピーチをする6人は発表の用意をし、それ以外の生徒はワークシートを準備しメモを取る用意をする。(1分)</p> <p>II：6人が順番にスピーチをする(18分)</p> <p>III：6人の発表者に対し感想を発表する(5分)</p> </div>	<p>①スピーチの際には以下の点に注意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Iでは、生徒に配布するワークシートに、発表と自分の作成した「職業ロードマップ」や考えとを比較し、自らの考えを修正・改善するために、新たに必要だと感じた、ことばや情報、思いをメモできるようにしておく。 ・IIでは、発表の中で感じた事や印象に残った発表などをメモにとらせておく。 	<p>仲間とともに話し合いにより考えを広めたり、深めたりすることができる。</p> <p>【他-①】 (行動観察) (ワークシート)</p>
展開②	<p>3 学習のまとめをする。 ①ロードマップ製作を通して感じたことや高まった力などの自己評価をする(3分)</p> <p>②自己評価した内容を発表する(18分)</p>	<p>①ロードマップ製作を通して自らの将来を設計する力がどの程度身に付いているかを自己評価表に記入させる。</p> <p>②生徒の発表では、以下の点に留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒による自主発表を行わせる。 ・まとめる視点としては、以下の3点を押さえておく。 <ul style="list-style-type: none"> ア … ロードマップ製作を通して改めて考えさせられたことや気持ちが変わったこと。 イ … 今自分に必要とされる力は何か。 ウ … ロードマップ製作を通して今後のために決意したこと。 	<p>他の発表を受け、自らが作成したロードマップや将来設計について自らの考えを改善することができる。</p> <p>【思-③】 (行動観察) (自己評価表)</p>
まとめ	<p>4 本時のまとめをする。 ①本時の活動における、付けたい力を確認し、どの程度身に付いたかを振り返る。(3分)</p>	<p>①本時で付けたい力がどの程度身に付いているかを自己評価表に記入させる。</p>	